

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	消防本部総務課(総務担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	消火栓新設事業(水道会計支出金)	事業番号	10104

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	2-1	消防・救急体制の充実
	施策目標	安全・安心に暮らせる都市基盤の充実したまち	

2 事務事業の目的

目的	市民が安全・安心に生活できる環境を作るため、消防水利の比率が低い地域で火災防ぎよ上有効な場所に消防水利を整備し、多様化する各種災害に対応できる体制づくりを推進する。
成果	消防水利の比率を上げることにより、消火活動を迅速・的確に行え、被害を軽減することができる。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	瑠璃瑠地区1基、市街地区1基、計2基の消火栓を新設						
	28	花咲港地区1基、市街地区1基、計2基の消火栓を新設予定						
	29	瑠璃瑠地区1基、市街地区1基、計2基の消火栓を新設予定						
	30	市街地区に2基消火栓を新設予定						
	31	市街地区に2基消火栓を新設予定						
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		1,599	1,860	1,860	1,860	1,860	9,039
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債	1,300	1,600	1,600	1,600	1,600	7,700
		その他						
		一般財源	299	260	260	260	260	1,339
	人員(人工)		0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
職員費(人員×8,081千円)		81	81	81	81	81	405	
総事業費		1,680	1,941	1,941	1,941	1,941	9,444	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H28)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	消火栓整備数		375基	385基
消防水利の比率		79.4%	83.5%	87.6%

**事務事業改善策
(継続事業のみ記入)**

本事業については前期計画からの継続事業であり、優先順位に基づき計画的に進行しているところであり、現状において変更部分が無く特に改善する必要性も感じられない。

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	消防水利が充実することにより消防力の強化が図られ、市民の安全・安心な環境が確保される。
--------------------------	---

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 消防水利の設置比率に対し、強い市民要望がある。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 市が消防責任を有しているため。
ウ. 事業の緊急性	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 消防水利設置比率の低い地域を優先し事業を推進しているところであり、当該地域での火災発生時における対応力強化の面から早期設置の必要がある。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 消防水利の基準に基づき増強を図っている。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 設置比率の低い地域から優先的に計画を進めていることにより公平性は保たれている。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 火災発生時における消防力を強化することを目的とし、現地調査に基づき地域の実情に応じた必要基準数を算定し、計画的に推進している。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	<input checked="" type="checkbox"/> 【計画どおり実施】 消火栓の設置に当たっては、設置比率の低い地域から優先的に計画を推進されたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 現行の更新計画に基づき設置比率の低い地域を優先とし、計画的に推進したい。

作成年度

平成28年度

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	消防本部総務課(総務担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	小型動力ポンプ購入事業	事業番号	11996

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	2-1	消防・救急体制の充実
	施策目標	市民と行政が一体となった、消防・救急体制が確立したまち	

2 事務事業の目的

目的	市民が安全・安心に生活できる環境を作るため、消防施設を整備し、複雑多様化する災害に対応する体制の強化を図る。
成果	複雑多様化する各種災害に対応する体制強化が図られる。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
		27	消防用備品整備(小型ポンプ1基)～別当賀地区					
	28	消防用備品整備(小型ポンプ1基)～友知地区						
	29	消防用備品整備(小型ポンプ1基)～浜松地区						
	30	消防用備品整備(小型ポンプ1基)～長節地区						
	31	消防用備品整備(小型ポンプ1基)～消防署						
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		1,890	2,214	2,214	2,214	2,214	10,746
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債	1,800	2,200	2,200	2,200	2,200	10,600
		その他						
		一般財源	90	14	14	14	14	146
	人員(人工)		0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
職員費(人員×8,081千円)		81	81	81	81	81	405	
総事業費		1,971	2,295	2,295	2,295	2,295	11,151	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H28)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	小型動力ポンプ更新整備状況	66.6%	100%	100%

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

本事業については前期計画からの継続事業であり、優先順位に基づき計画的に進行しているところであり、現状において変更部分が無く特に改善する必要性も感じられない。

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	小型動力ポンプを計画的に更新し、市内全域の消防力を強化する。
-------------------	--------------------------------

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<p>■かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない</p> <p>市民の生命身体、財産を火災、災害から保護するために必要。</p>
イ. 市が実施する必要性	<p>■市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である</p> <p>市が消防責任を有することに基づく。</p>
ウ. 事業の緊急性	<p>■緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない</p> <p>必要数を確保するために更新が不可欠。</p>
エ. 手段の適切性	<p>■適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある</p> <p>小型動力ポンプを計画的に整備し、消防力の充実強化を図る。</p>
オ. 事業の公平性	<p>■公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある</p> <p>消防力の充実強化が目的であり公平性は高い。</p>
カ. 事業の有効性	<p>■本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない</p> <p>必要数を確保するために更新が不可欠。</p>

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	<p>【計画どおり実施】</p> <p>小型動力ポンプの整備に当たっては、保有台数、必要台数、整備箇所などに関して具体的に記載し、市民にわかりやすい説明責任を果たすこと。</p>
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<p>■計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する</p> <p>当該事業における小型動力ポンプは、消防署に1台及び幌茂尻、温根沼、昆布盛、長節、浜松、別当賀、友知、双沖、瑛瑤瑠、納沙布、温根元の各地区消防機械置場等に各1台、計12台の必要台数を保有している。市内全域の消防力を強化するため、現在保有している12台については、平成29年に浜松地区を整備するなど計画的に更新を実施していく。</p>

作成年度 平成28年度